

令和8年1月16日

令和7年度第5回伏見区介護サービス事業者連絡会 資料

<全体会> (13:30~)

1 事業紹介

- ・訪問看護ステーションオプス（新規）
- ・ケアプランセンターピース（新規）

2 各部会からの報告

3 行政報告

<次回令和7年度事業者連絡会全体会開催予定…変更の可能性あり>

- ・第6回 令和8年 3月13日（金）（オンライン予定）

※ 部会の活動予定につきましては、部会担当に御確認ください。

令和 7 年 / 12 月 3 日

伏見区介護サービス事業者連絡会会員 各位

伏見区介護サービス事業者連絡会
部会代表

令和 度 伏見区介護サービス事業者連絡会入退会及び継続に係るお知らせ

新規入会及び現在入会して頂いております会員事業所様につきまして、部会会員として次年度以降の継続及び退会希望等の確認を取りたく考えております。

つきましては、下記をご覧頂きいずれかを選択の上、令和 年 月 日 ()までにファックスにてご返信を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月3日

伏見区介護サービス事業者連絡会 入会・退会・継続申出書

1 申出の内容

 入会 (新規) 継続 変更 (管理者・事業所名・所在地) 退会

2 事業者情報

(1) 事業所名

訪問看護ステーションオプス (管理者署名) 木村 弘徳 印

(2) 所在地

京都市伏見区深草善導町3-45 ポハイテナント5号

(3) 連絡先 TEL 075(606)8140 FAX 075(606)8141

メールアドレス imura@ops.jp.com

(4) 事業所形態

居宅介護支援事業所

 訪問系事業所

通所系事業所

福祉用具系事業所

居住系サービス事業所

※注意事項

- ・伏見区介護サービス事業者連絡会規程は遵守すること。
- ・連絡会及び部会の活動に積極的に参加すること。
- ・規程に違反する場合は、運営委員会により退会措置を講ずることがある。
- ・退会の届出は1ヶ月前までに提出すること。

※表紙は不要です。本紙のままご返信下さい。

<ファックス送信先及び問い合わせ先>

電話

FAX

令和7年10月吉日

伏見区介護サービス事業者連絡会会員 各位
(住宅介護支援専門員部会)

伏見区介護サービス事業者連絡会
居宅介護支援専門員部会代表 池田 創一

令和7年度 伏見区介護サービス事業者連絡会入退会・継続申出書

令和7年10月17日

伏見区介護サービス事業者連絡会 入会・退会・継続 申出書

1 申出の内容

・入会(新規) ・継続 ・変更(管理者・事業所名・所在地) ・退会

2 事業所情報

(1) 事業所名

トアラーナンバー ピース (管理者署名) 中野晋一郎

(2) 所在地

京都市伏見区向島津田町17-1 第7長栄マンションランボ2号室

(3) 連絡先

TEL 075-606-6663 FAX 075-606-6664

メールアドレス gf-piece1001@tiara.och.ne.jp

(4) 事業所形態

居宅介護支援事業所

訪問系事業所

通所系事業所

福祉用具系事業所

居住系サービス事業所

※注意事項

- ・伏見区サービス事業者連絡会規程は遵守すること。
- ・連絡会及び部会の活動に積極的に参加すること。
- ・規程に違反する場合は、運営委員会により退会措置を講ずることがある。
- ・退会の届出は1ヶ月前までに提出すること。

FAX: 050-3488-7716 E-MAIL: careandfeeling@gmail.com

令和 7 年度 介護支援専門員部会 第 5 回役員会議事録

日時：令和 7 年 12 月 12 日（金）午後 1 時～2 時

場所：伏見区役所 1 階 G 会議室

参加者：(敬称略)

淀本町ケアプランセンター 池田創一

レーベン横大路居宅介護支援事業所 澤本雅典

ヴィラ向島居宅介護支援事業所 石原良美

神川訪問看護ステーション 北村美樹

居宅介護支援事業所青い鳥 植田真一郎

まごの手 長澤圭祐

ももやまケアプランセンター 中藤正一

久我の杜地域包括支援センター 早川貞太郎、高木秀行

蘇生会居宅介護支援サービスセンター 佐藤誠

居宅介護支援事業所ソラスト伏見 小寺季史子（書記）

議題 1 事業者連絡会運営委員会（12 月 11 日開催）報告。

・令和 7 年度第 4 回（11 月 21 日開催）連絡会アンケート結果

認知症家族の会 講演会 約半数の回答率（アンケート集計は別紙参照）

・令和 7 年度第 5 回連絡会（1 月 16 日）開催について

・部会報告

議題 2 研修計画について

令和 8 年 1 月事例検討会について

・12 月 2 日に打合せ

事例提供者（リエゾン 幸山氏）、司会進行（レーベン 澤本）、グループ分け（蘇生会 佐藤）、リーフレット作り（春日 新井）、アンケート（ソラスト 小寺）

事例の資料については事前配布せず、10 部ずつ印刷して当日配る。

・アンケートは紙とフォームでも対応。QR コードを添付する。

令和 8 年 2 月 BCP 研修についてはそろそろ進めていかなければならない。

議題 3：デジタル・ICT 化促進について

実用性の高いもの、ゴールデンウイークの休みを一覧表にまとめる。

チャットワークスで来年のスケジュールを作成するなど。

議題 4：その他

・次年度の役員代表を決める（1 月 16 日までに決める）

・医師会懇親会一覧表の作成

・次回の役員会 2 月 13 日金曜日

令和7年度伏見区介護サービス事業者連絡会

第5回通所部会議事録

令和7年12月11日(木) 13:30~15:15

参加者:10名(10事業所)

内容:

- ① 交通安全研修について…
- ② 次年度の運営委員選出について…
- ③ ICT化促進について…

① 交通安全研修について…

今部会において交通安全講習会の開催を予定していたが、研修を依頼していた先方(伏見警察署交通課)の諸事情に伴い、2月開催の通所部会に日程を変更する。

② 次年度の運営委員選出について…

役員選挙の投票期間が終了。集計の結果、投票数上位の3事業所が選出される。順次、確認行い確定後に公表する。

③ ICT化促進について…

ICT化促進チームメンバーの準備により Chatwork 内に通所部会用の Chat ルームが開設。運用ルールや使い方の PDF を用いて部会参加者に説明・情報共有を実施。Chatwork への新規登録案内及び既にアカウントを取得している事業所への Chat ルーム招待にて5事業所の参加あり。本格的な運用開始時期など、適宜、情報提供に務める。

次回 通所部会開催日程 令和8年2月12日(木) 13:30~

以上

令和7年度12月事業者連絡会訪問系部会 役員会

令和7年12月5日（金）17:00-17:45

参加者：こうふく介護サービス 尚永・糸山

メディケアリハビリ 林田

エルファ 宮本

ももやまホームヘルプステーション西田

1. R8年1月16日（金）全体会終了後～16:00 （全体会終了後）

【感染症についての研修】実施予定

メディケアリハビリの看護師による在宅における基本的な感染対策及び対処方法などを講義してもらう。

2. 次年度役員選出

担当にあたっていない事業所に声掛けし役員を選出していく予定。

2事業所ほど新たに選出実施。

3.伏見医師会懇親会について

R8年2月21日（土）訪問系部会より2名参加者選出

伏見区事業所連絡会 福祉用具部会

日時：2025年12月2日(火) 13時～14時

場所：伏見区役所1階 G会議室

参加事業所：サンてらす、ソーケンメディカル、フロンティア、ゴトウライフクリエイション、ヤマシタ、ラ・ケア、三笑堂、安心ライフ・トーカイ

欠席：スマイルケア

①展示会の反省点

- ・メーカーさんの割り振りが偏った
- ・メーカーの数が少なかった
- ・一般の方の目的がはっきりしており、杖が見たい方もいたので、用意しておくべきだった
- ・ハグの反応が良かった
- ・用具をもっと増やしても良かったのかも
- ・自費サービスを入れても面白かったのかも
- ・専門職にもっと来て頂きたかった。年々減少傾向にあるので、アプローチを考える必要がある…
- ・以前は深草・醍醐エリアの専門職の方も来てくださっていたので、今後はアプローチしていく必要があるかと思う

②テーマに対する反応は？

- ・CMさんの期待値としては低い？
- ・来年のテーマをどう決めるのか考える必要がある
- ・今後はテーマを決めなくて、展示会という括りのみでいいのかなと

どう呼び込むのか？が今後の課題

- ・体験会という形の方が反応がいいのかもしれない、出来ればそういう形も検討してみる必要あり

※次年度どういった形にしていくのかは今後要検討。

③訪問系部会との合同研修会

- ・昨年度は福祉用具を持ち寄っての説明がメイン
- 5～7人のグループを作って10分で合計1時間ほど実施。
- 35名ほど来られていた。

・実施内容としては
急速ベッドが動かなくなった際の対応・歩行器の説明・スライディングシートの説明

・今年度は令和8年2月3日に実施予定（35名程度来所見込み）

実施内容：各福祉用具の使い方+トラブルの対処方法

・割り振り

ゴトウライフクリエイション：杖（四点杖・一本杖の違い）

サンてらす：ベッド

ヤマシタ：歩行器・シルバーカーの違い

フロンティア：手すり

トーカイ：車椅子

・グループを作って回るようにしてもらう

④令和8年2月21日 伏見医師会地域ケア懇談会に関して

サン・てらす・ゴトウライフクリエイション・ソーケンメディカルが参加

以上

令和 7 年度 12 月 伏見区事業者連絡会 居住系サービス部会議事録

1. 日時：令和 7 年 12 月 11 日(木) 場所：伏見区役所 4 階 第 5 会議室
2. 参加事業所：京都指月あさがおの郷 竝川氏、あじさい苑 桂田氏、GH よろこび
伏見 森野辺氏、さくらハウス七瀬川 大西氏、深草京しみず 楠田氏、まどか
荒薦氏、第二京しみず 竹野氏、ケアハウス久我の杜 八代氏、あじさいガーデン
鍋島氏、レーベン横大路 椿

○伏見区医師会懇親会について

居住系サービス部会から、代表竝川氏を除いて 5 名の選出が必要。現役員、又は時期役員候補の者から選出されるのが通例。伏見区事業者連絡会以外の団体から選出されている者や、業務都合にて参加が困難な事業所が多い。現時点で 3 名選出できており、残り 2 名を部会参加委員に声を掛けていく。

○紹介冊子について

15 施設参加で決定。ケアマネへは冊子ではなくデータで提出してはどうか、との意見があり、冊子とデータ両方の作成を行う。冊子については 600 部発行予定。

○居住系サービス部会役員体制について

公平性の観点から、会員施設の 25 施設を輪番に 1 年交代で行っていく事で決定。R7 年まで役員にあたったものを省き、R8 年度から 1 名を新しく役員を迎え入れ、1 名を役員から外していく流れをつくる。今年度中に現役員で会員名簿を作成し、順番に役を回していくシステムを構築する。

○作品展・写真展について

現在参加施設は 3 施設。通所部会小林代表と連携し、事前準備や当日準備の手伝いを行っていく。

No.1

令和8年1月16日 ICT化推進チームより報告

・まとめ:

- 普及活動: 福祉用具展示会での登録会を経て、チャットツール(LINE WORKS, Chatwork, MCS)の登録促進を実施しました。
- 運用モデルの構築: いきなり完全なデジタル化を目指すのではなく、紙やFAXと併用する「デジタルとアナログのハイブリッド運用」という現実的な戦略を打ち出しました。
- ニーズの把握: アンケート分析により、職員のICTスキル習得や導入コストが課題であることを明確化し、導入事例の共有や基本操作研修へのニーズが高いことを突き止めました。
- 具体的施策: ゴールデンウィーク(GW)の休業情報を共有する仕組みの試行や、Googleサイト(ポータルサイト)の構築に着手しています。

・課題:

- ツールとスキルの分断: 複数のチャットツール(Chatwork, LINE, MCS)が混在しており、情報の断片化リスクがあります。また、事業所間でICTスキルに大きな差(温度差)があり、導入ペースの調整が必要です。
- 参加の偏り: 通所・訪問系など一部の部会でグループチャットへの参加が少數にとどまっており、浸透に時間を要しています。
- ルールの未整備: 会員外の事業所や近隣地域(深草・南区・宇治市・向日市・長岡京市等)を含めた情報共有を行う際、規約に抵触しないかどうかの確認や、ガイドラインの策定が急務となっています。

・総評

令和七年度の運営委員会は、全部会共通のインフラとして「ICT」という新しい道路を敷こうとしている段階にあります。

※No.2以降はそれぞれの日程で行った会議・ミーティングの要約です。

No.2

ICT 活用推進に関する取組み状況報告書 令和 7 年 12 月 9 日

(提出先:京都市伏見区介護サービス事業者連絡会・運営委員会)

■ 1. はじめに

本報告書は、ケアマネジャーおよび通所系事業所を中心とした ICT 活用促進に向けた取り組みについて、現状の進捗と今後の計画を整理したものである。業務効率化、情報共有の円滑化、セキュリティ向上を目的として、チャットツールやデジタルフォーム活用、研修企画等の整備を進めている。

■ 2. 現状の課題整理

2-1. 情報共有の分散

現在、LINEWORKS・MCS・Chatwork・メールなど複数ツールが併用され、

連絡の重複

情報の見落とし

担当者間の共有遅延が発生している。

2-2. 事業所間で ICT 活用スキルに差がある

チャットやデジタルフォームの活用に慣れている事業所と、まだ未導入の事業所で温度差が大きく、導入・研修のペース調整が必要。

2-3. 長期休暇情報など「見える化」の不足

ケアマネ側が知りたい

事業所の休業日

空き情報

加算・提供票などの関連資料が分散しており、都度問い合わせが必要となっている。

2-4. 会員制サービスとしての取り扱い課題

非会員事業所の情報掲載に対して慎重な意見がある一方、情報を絞りすぎると利便性が下がる。権限管理の方向性を検討する必要がある。

■ 3. 実施した対応・進捗報告

3-1. 議事録作成方法の改善(Google ドキュメント化)

Google ドキュメントへの移行を提案し、準備開始。

メリット：

スマホで閲覧可能

同時編集で会議効率 UP

過去の議事録を一元管理

3-2. チャット活用促進(ケアマネ部会・通所部会)

通所部会(12月11日)の開始に向け、以下を準備済み：

トーカルーム挨拶文・運用ルールの作成

通所サービス事業所一覧表(仮完成)

Chatwork使い方 PDF の作成

案内用 QR コードの準備完了

モモネットで既につながっているケアマネとの スモールスタート を計画。

3-3. Google フォーム活用案

アンケートなど事務作業をデジタル化するため、Google フォーム提出方式を提案。

運用イメージ：

運営委員会にて実物を提示

承認後、メールまたは FAX でフォームを送付

データ回収

チャット掲示板に掲載

3-4. ICT 研修(タダカヨ)との連携準備

4月以降の研修支援として、以下のテーマを候補に設定：

チャットツール活用

記録業務効率化と AI 活用

個人情報保護・セキュリティ

業務を楽にする ICT 活用ノウハウ

アンケート結果があれば、ニーズに沿った研修企画が可能。参加希望の募集を検討。

■ 4. 今後の展開計画(ロードマップ)

4-1. 段階的な導入(混乱を避ける速度で進行)

第 1 段階:ケアマネ × 通所部会 のスマールスタート

現状のつながり・信頼関係を活かし、小規模で運用開始

第 2 段階:約 90 の通所事業所へ拡大

利便性が実証された段階で段階的に参加を広げる

第 3 段階:福祉用具事業所へ展開

情報連携のニーズが高い領域のため優先度高

第 4 段階:訪問介護・訪問看護へ展開

記録・連絡の効率化効果も大きく、順次参入を図る

※各段階で研修・フォローアップを実施するため、一定の時間をする想定。

4-2. 長期休暇情報の統一管理

令和 8 年ゴールデンウィークからの本格運用を目標

令和 7 年年末年始は“デモ版”として試行的に実施

4-3. 情報「見える化」プラットフォームの構築

加算情報

空き情報

リーフレット

提供票に関する案内を一元管理し、ケアマネ側・通所側双方の業務効率化を図る。

■ 5. 今後、委員会に相談したい事項

多ツール運用を継続するか、MCS 等に一本化を目指すか

非会員事業所の情報取り扱いに関する方針整備

ICT 研修の内容・開催方式

Google フォーム提出方式の正式採用可否

「見える化」情報の範囲と管理主体

■ 6. まとめ

ICT 活用は、

ケアマネジャーの業務効率化

事業所側の負担軽減

情報共有のスピード向上

介護の質の向上に直結する重要な取り組みである。

今後も、「皆が混乱しない速度」で段階的に進めながら、研修・フォローアップ体制を整備し、地域全体の ICT 活用力向上に寄与していく。

以上、運営委員会への報告とする。

No.3 ※アンケートは別紙参照

ICT 化推進チーム活動報告 令和 7 年 12 月 11 日

- ・ 福祉用具展示会でグループチャット登録会を実施
- ・ Chatwork、LINEWorks、MCS の 3 種類を並行使用中
- ・ アンケート結果分析:
 - ・ チャットツール使用率: 80%超の事業所が何らかのツールを使用
 - ・ 主要課題: 導入・運用コスト(50%)、職員の ICT スキル習得(72.2%)
 - ・ 今後の支援ニーズ: 導入事例共有、補助金情報提供、基本操作研修
- ・ 今後の計画:
 - ・ 年間研修スケジュールの策定
 - ・ 各部会との連携強化
 - ・ BCP 研修と ICT ツールの連携検討

No.4

プロジェクト進捗共有／状況報告のまとめ 令和7年12月25日 ICT化推進チーム
ミーティングより

ICT研修計画とスケジュール管理

- 目的と背景
 - ICT化推進チーム主導で「第1回研修」をできるだけ早期に実施し、チャットツール(Chatwork)登録・活用を促進する。
 - 5月の役員入れ替え期に加え、報酬改定の周知が見込まれ、全体会後の時間確保が不透明。
- 実施枠(想定)と代替案
 - 5月全体会(13:30開始～15:00前後終了想定)の後に30～40分の研修枠を確保できれば実施。
 - 報酬改定報告・行政からの説明が長引く場合は、7月回へ繰り延べ。
- 研修内容の選定方法
 - 研修メニュー案を提示し、参加者アンケートで希望を収集。
- 体制と準備状況
 - 運営委員会・役員への過度な依存は避け、ICT化推進チームが実務をリード。
 - 資料は未整備。準備整い次第、メールとチャットで共有予定。

ゴールデンウィーク休暇の情報共有

- 目的
 - ケアマネジャーにとって有用な各事業所のゴールデンウィーク(将来的には年末年始)休業情報を集約・共有し、利用調整を円滑化。
 - 伏見区事業者連絡会の会員外や隣接地域(宇治、醍醐、久御山、長岡京、向日など)まで含めるべきか、規約抵触有無が未確認。
- 提案(1):まずは伏見区事業者連絡会内でパイロットを実施し、効果検証後に段階拡大。

- 提案(2):初回から広く公開し利便性を示した上で、のちに会員限定化して入会誘因とする案。
- 合意の方向性:初回(GW)はスマートスタートとして連絡会内で実施し、評価のうえ拡大方針を再検討。
- 将来像
- グループチャットを基盤に、降雪・交通麻痺等の緊急連絡(休業一斉周知など)に対応(「ももネット」での成功体験を参照)。
- 隣接市町村(向日市、長岡京市等)も含む広域連携を中長期で目指す。

グループチャットの導入状況と委員会の参加状況

- 現状と進歩
- 通所部会:約 10 事業所が Chatwork 試行参加。法人承認が必要なケースあり。吉岡さんを中心に呼びかけ進行。
- 連絡会全体グループチャット:募集開始済みだが、通所・訪問系の参加が少数(福祉用具展示会での募集に偏り)。
- 福祉用具部会:今期代表(サンてらす今西さん)の呼びかけで LINE グループが自然発生。
- 各部会での訴求ポイント(例)
- 居住系:空床・空室等の空き情報の高頻度更新、特色サービスの一覧化→ケアマネの閲覧利便性向上。
- 通所・訪問・福祉用具:資料共有や連絡事項の即時性、合意形成の迅速化など部会特性に沿った便益を明確化。
- 参加促進
- 連絡会開催時に受付横で登録ブースを恒常設置し、毎回参加者を増やす。
- 5 月全体会後にも改めて参加呼びかけを実施。
- 部会単位の小規模グループチャットは、母集団拡大に応じて順次立ち上げを検討。
- 将來の連携可能性

- ・ 医師会側は MCS の利用が想定され、将来的な情報連携・棲み分けを念頭に置く(現時点で特定ツールの推奨・強制は行わない)。

5月の総会とタイムライン

- ・ 2月:次回運営委員会で、本会で合意した事項を諮る予定。
- ・ 5月全体会(想定アジェンダ)
- ・ 役員発表。
- ・ 河合代表からの臨時報酬改定に関する周知。
- ・ 時間が確保できれば ICT 化推進チーム研修(30~40 分)を実施。
- ・ タイムテーブル想定
- ・ 13:30 開始、~15:00 前後終了→以降に研修枠を設定(確保不可の場合は 7 月回へ)。
- ・ 連絡手段
- ・ 研修関連の案内・資料共有はメールおよびチャットを基本とし、FAX は原則不使用。

意思決定と調整

- ・ 初回の GW 休業情報共有は、伏見区事業者連絡会内のスマートスタートで実施し、効果検証後に拡大方針を検討する。
- ・ 5月全体会後の 30~40 分枠で ICT 研修を実施する方針(時間確保不可の場合は 7 月回へスライド)。
- ・ 周知・資料配布は原則メール・チャットを用いる。
- ・ 本日合意した事項は 2 月の運営委員会へ上程する。

リスクと未解決の課題

- ・ 5月全体会の時間配分が報酬改定説明等で圧迫され、研修枠が確保できない可能性。
- ・ 行政(区役所)からの新規情報は現時点なし(変動の可能性あり)。
- ・ 通所・訪問系など一部でグループチャット参加が少数にとどまり、浸透に時間を要するリスク。

- ・会員外・隣接地域の情報掲載が規約に抵触するかの確認未了。
- ・ツール分散(Chatwork／LINE／MCS 等)による情報断片化リスク。長期的な連携方針の整理が必要。

対応事項

ICT 化推進チーム:研修メニュー案を作成し、参加者アンケート(配布手段はメール・チャット優先)で希望収集(2月上旬目途)。

ICT 化推進チーム:5月全体会後の30~40分研修枠を調整し、確保不可時の7月代替案まで含めたタイムテーブルを提示(2月運営委員会まで)。

運営委員会事務局:GW 休業情報共有の初期スコープ(伏見区内会員限定)と運用要領(収集様式・掲出方法)を策定(3月末)。

運営委員会事務局:規約上の取り扱い(会員外・隣接地域情報の掲載可否)を確認し、段階拡大時のガイドライン案を準備(5月全体会まで)。

吉岡さん(通所部会):通所部会での Chatwork 試行参加拡大と便益整理、事例収集を継続(隨時、状況を次回会合で報告)。

各部会リーダー(居住系・訪問系・福祉用具):自部会向けのグループチャット活用メリットを整理し、部会内で合意形成(3月末)。

連絡会事務局:各回連絡会での登録ブース恒常化の準備(設営・説明資料・担当配置)と5月全体会後の参加呼びかけ計画を策定(4月末)。

ICT 化推進チーム:研修資料(初学者向けグループチャット登録・基本操作、活用事例)を作成し、メール・チャットで配布(準備完了次第)。

区役所(日山係長):報酬改定・行政連絡の新情報が出た際の共有手順を確認し、入手次第連絡会へ共有(隨時)。

『2025福祉用具フェスタIN伏見』伏見区介護サービス事業所連絡会・ICT化促進チームアンケート

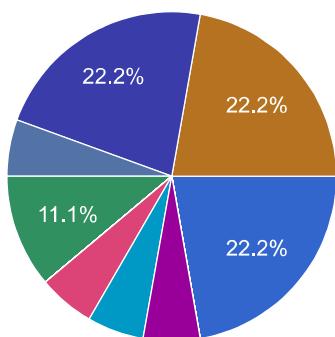
18 件の回答

[分析を公開](#)

Q1.所属事業所のサービス種類を選択してください

[□ コピー](#)

18 件の回答



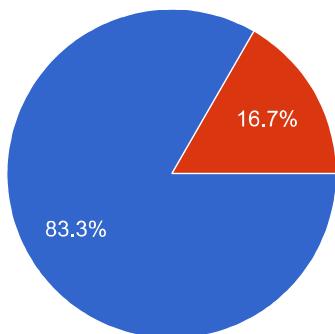
- 11.訪問介護
- 12.訪問入浴介護
- 13.訪問看護
- 14.訪問リハビリテーション
- 15.通所介護
- 16.通所リハビリテーション
- 17.福祉用具貸与
- 21.短期入所生活介護（介護...）

▲ 1/3 ▼

Q2.多職種連携においてチャットツールを利用されていますか

[□ コピー](#)

18 件の回答

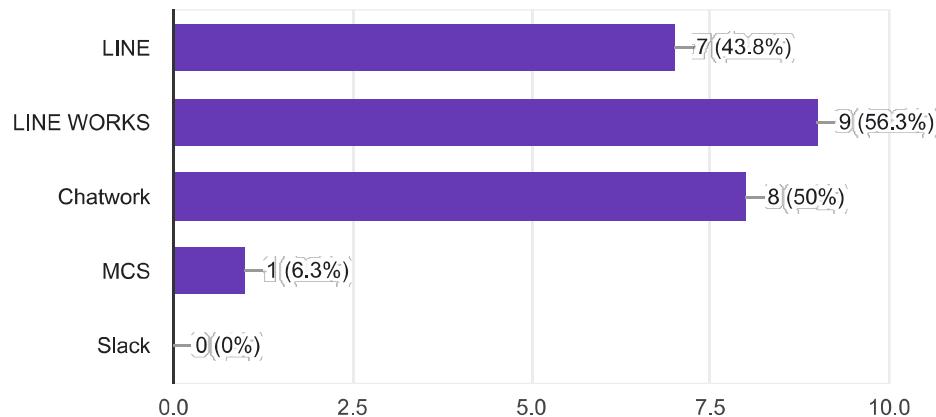


- 利用している
- 利用していない



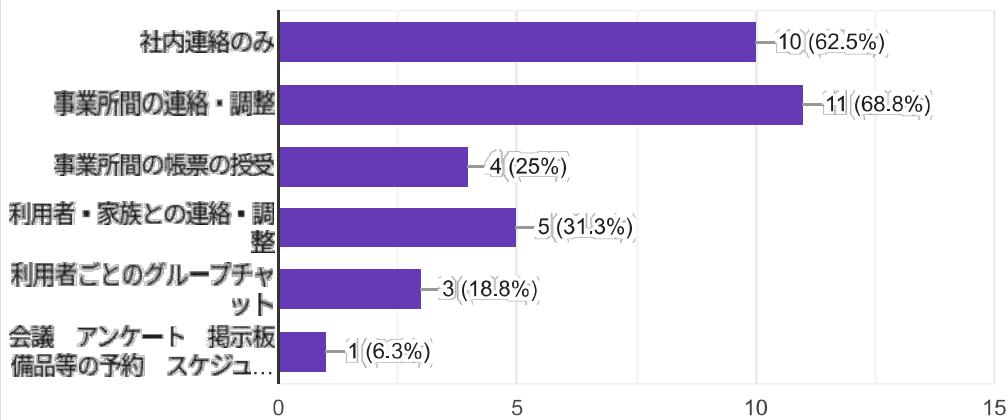
Q3. (利用している場合) 利用しているチャットツールをチェックしてください [□ コピー](#)
(複数回答可)

16 件の回答



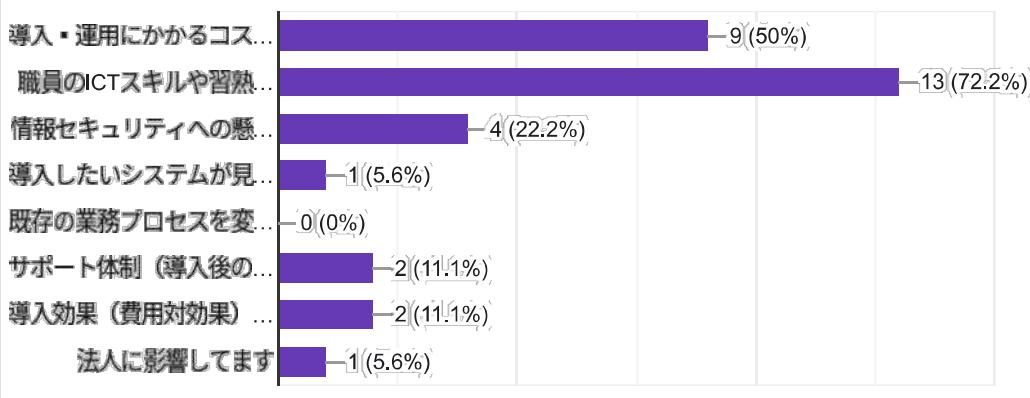
Q4. (使用している場合) 使用する場面についてチェックしてください [□ コピー](#)
(複数回答可)

16 件の回答



Q5.ICT化を進める上での課題は何ですか？ (複数回答可) [□ コピー](#)

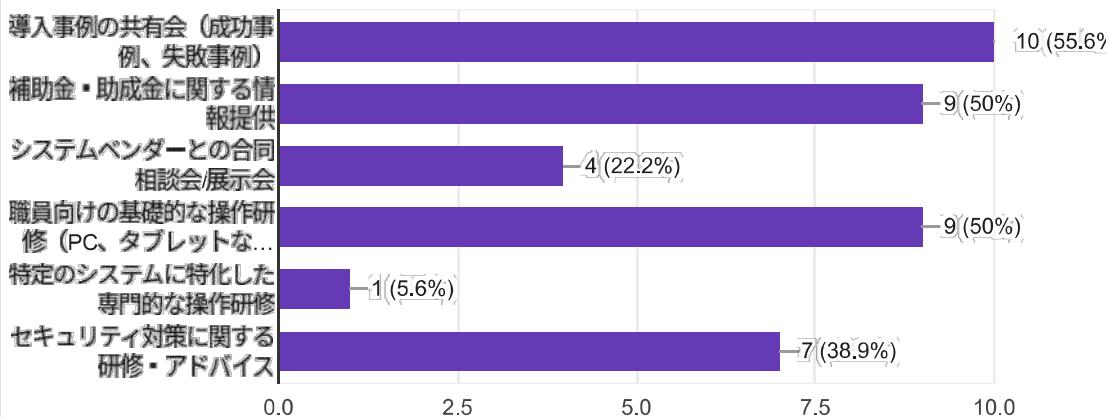
18 件の回答



Q6.ICT促進チームに、今後どのような支援や情報提供を期待しますか？
(複数選択可)

コピー

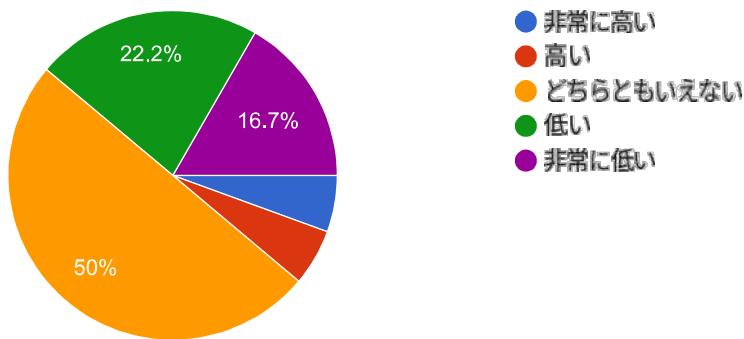
18 件の回答



Q7.事業所の職員全体のICTスキルについて、現状をどのように評価しますか？

コピー

18 件の回答



Q8.最後に、ICT化に関して連絡会や促進チームに伝えたいこと、ご意見があればご記入ください

3 件の回答

医師会や、在宅医療に積極的な医師に加わって貰い、医師の側から利用促進を訴えて貰ったりすると、大きく動かせると思います。

お世話になっております。事業所間の連携もICT化が進むと楽になることと、災害時の事業所間における情報共有においても有効な手段であるので、事業所連絡会から呼びかけをいただければとても助かります。参加される事業所が増えてICT化がよりよく進んでいくようにと期待しております。

引き続きよろしくお願ひいたします。



令和 7 年度 第 5 回 伏見区介護サービス事業者連絡会 アンケート用紙

事業者連絡会について御感想・御要望等をお聞かせください。

今後の連絡会の活動や会議のあり方の検討材料とするため、御意見を頂けますと幸いです。

1 部会報告について

(1) 御感想を下記からお選びください。

1 わかりやすかった 2 わかりにくかった 3 どちらでもない

(2) 御意見・御要望がございましたら可能な範囲で結構ですので下記に御記入ください。

御感想・御要望

例) 議事録を簡潔にしてほしい。〇〇部会の～活動について具体的に報告してほしかった。

〇〇分野の事業所紹介をしてほしい。自社についても報告がしたい。

2 行政報告について

(1) 報告を受けての御感想を下記からお選び下さい。

1 わかりやすかった 2 わかりにくかった 3 どちらでもない

(2) 御意見・御要望がございましたら可能な範囲で結構ですので下記に御記入ください。

御感想・御要望

例) ゆっくり話をしてほしい。〇〇について報告をしてほしい。

3 その他（事業紹介・報告含む）

今回の連絡会に限らず、今後の連絡会・部会活動その他研修会等で御意見・御要望等ございましたら下記に御記入ください。

御感想・御要望

4 事業所形態

貴事業所の形態を選んでください。

地域包括 居宅 通所 訪問 短期 居住系サービス 福祉用具 その他

※アンケートにて回答しかねる意見もございますが、運営委員会にて協議した回答を望まれる方は連絡先を御記入ください。

氏名 _____ 所属 _____ 連絡先 _____

※このアンケート用紙は、1月 23日(金)までに下記にFAXにてご送付ください。

→ 担当 通所部会 代表 事業所名 ランランルンスマイルケア

担当者名 小林 FAX : 075-622-8848